

令和3年度 学校関係者評価報告書 最終評価

大阪市立新生野中学校

1 総括についての評価

新型コロナウイルス感染拡大がおさまらず、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の中、1月には学級休業が相次いだ。行事の延期や中止などが相次ぐ中、生徒の安全を最優先し、オンラインを活用するなど工夫をしながら教育活動を維持することを心がけ、何とかコロナ2年目を乗り切ることができた。また、生徒もこの状況の中、忍耐強く頑張ってくれた。来年度は、少しずつでもいいので通常の学校生活を取り戻したい。

2 年度目標ごとの評価（最終）

年度目標【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- ・学校で認知したいじめについてのすべてに対応できた。
- ・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える生徒の割合は、92%であった。
- ・暴力行為を複数回行う加害生徒数は残念ながら前年度を上回ったが数人であった。
- ・校内調査において、新たに不登校になる生徒は前年度より増加した。コロナ不安で登校できない生徒も多くいたが、オンラインで「学びの保障」ができた。
- ・道徳教材を使った授業は、各学年とも目標を達成できた。

年度目標【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・I C T機器の使用率は昨年度より向上した。授業のオンライン配信も実施できた。
- ・校内調査において、「授業はわかりやすい」と回答した生徒の割合は、80%であった。
- ・校内調査において「毎朝、朝ご飯を食べてから学校に来る」生徒の割合は86%であった。
- ・文化発表会は、コロナウイルス感染症拡大予防を図りながら、規模を縮小し、発表方法を工夫して開催できた。また、芸術鑑賞会は、予算を工面し2部制で実施した。

3 今後の学校運営についての意見

- ・コロナウイルス感染症がおちついたら、地域・校区小学校との交流行事や校外へ出かけていく行事などを復活させ、通常の学校生活を取り戻していきたい。